



特別じゃない。だから…



国	籍	ベトナム
職	種	機械加工
実習実施者		シバタ精機株式会社
監理団体		福岡素形材産業協同組合

グエン フウン ヴァン
NGUYEN PHUNG VAN

「わからない時は、簡単に返事をしてはダメです。わかるまで聞きなさい。」入国してすぐ、上司から言われた言葉です。私は、この言葉がショックでした。だって、わからないと言うと、日本人はまた日本語で話すでしょう？

仕事を始めてすぐ、製品を作るための指示書の意味がわかりませんでした。日本語の説明がわからなくて、ベトナム人の先ばいにベトナム語で教えてもらいましたが、わかりませんでした。結局、わからないのに製品を作りました。意味がわからないのに製品を作るなんて、今は信じられない、絶対ダメなことです。「まちがえました」と主任に報告した時、「ヴァンさん、最初からできないと決めることはダメです。できるようになりたいと思って、少しずつ努力をしましょう」と言われました。主任は、私が理解することをあきらめて、分かっていると思われたいという気持ちに気づいたのでしょう。私は、主任の言葉をずっと覚えています。そして、「努力」とは何だろうと考えました。

私が働いている会社では、月に2回、日本語教室に参加できます。先生は、いつも笑顔でやさしい人です。私は日本語教室に通って、先生

の話を集中して聞きました。最初はわからなかったけど、余計なことは考えないで、休まずに日本語教室に行きました。特別なことあったわけではありませんが、気づいたら日本語を聞くことが好きになっていました。わからないと思ったら、「先生すみません。わかりません」と言えるようになりました。「わからない」と言うと、先生は当然日本語で、いつもていねいに説明してくれましたから、安心して日本語を聞いたり話したり、質問できるようになりました。最初はむずかしいと思ったN3に合格して、今はN2の勉強をしています。今、私は日本語がこわくありません。

主任が言った「努力」は、自分が苦手なことに歩み寄ることだと思います。私が日本語教室を休まなかったように、逃げずに続けます。最初からあきらめません。わからない時は、「わかりません」と、勇気を出して伝えます。できることを少しずつ増やします。それが努力だと、日本語教室に教えてもらいました。

今、日本の生活をふり返って思います。日本に来て、ずっとコロナでしたから、旅行など特別なことはできませんでした。でも、仕事や生活、日本語、一つ一つに歩み寄ることができました。だから、毎日安心して過ごすことができました。特別じゃなかった。だからこそ、人生で一番大切な私の基盤を作ることができました。きっと、人生で一番大切なことは、「特別」ではなくて、目の前にあることに歩み寄って、自分の基盤を作る努力をすること。日本で経験したことは、私の財産です。大切にします。日本に来てよかった。ありがとうございました。